

各位



**EVOT 共同企業体（代表構成員：兼松株式会社） 大阪府「緊急雇用創出基金事業  
電気自動車（EV）タクシー普及啓発事業」の最優秀提案者として選定される**

このたび、兼松株式会社（本社：東京都港区 代表：下嶋政幸）を代表構成員とする共同企業体は、大阪府が実施する「緊急雇用創出基金事業 電気自動車（EV）タクシー普及啓発事業」（\*1）の企画提案公募において、最優秀提案者に選定されました。

本事業は、大阪府が電気自動車（EV）タクシー事業（\*2）の開始に先立ち、EV タクシーの新しいビジネスモデルの可能性を検証するため、電気自動車（EV）タクシーのオンデマンド運行（事前予約）方式等の調査などを行う目的で、事業者を企画提案公募により募集していたものです。

共同企業体は「EVOT（エボット）共同企業体（\*3）」と称し、その構成員は以下の 6 社となります。EVOT 共同企業体は、今後、事業計画の詳細を確定していくとともに、平成 23 年 1 月末頃（予定）からの EV タクシー試乗イベント開催に向け、大阪府との協議を進めてまいります。

EVOT 共同企業体 構成員：

- ・ 兼松株式会社（代表構成員）
- ・ 兼松コミュニケーションズ株式会社
- ・ 株式会社 JTB 西日本
- ・ 株式会社システムオリジン
- ・ 株式会社パソナ
- ・ 株式会社モーション

\* 1：「緊急雇用創出基金事業 電気自動車（EV）タクシー普及啓発事業」の業務概要（仕様書より抜粋）

➤ 業務目的：

本事業では、EV タクシー事業の開始に先立ち、EV タクシーの新しいビジネスモデルの可能性を検証するため、試乗会の実施やオンデマンド運行による調査を行う。EV タクシーを広く PRするとともに、調査に協力いただける試乗体験者（乗車料金は無料）を募集し、大阪市域交通圏<sup>(2)</sup>中の 4 つの運行エリア（概ね半径 5 km 以内の範囲）<sup>(2)</sup>を参照）で運行調査を実施する。それぞれのエリアで走行距離・稼働率・充電回数等について調査し、EV タクシーの効率的な運行方法を検討する。また、タクシーに同乗した調査員が試乗体験者・乗務員に対してアンケート調査を実施し、EV タクシー事業における課題抽出を行い事業化に向けた検証を行う。こうした取組みを通じて、EV タクシーの普及啓発や調査等に必要な新規雇用の創出を図る。

➤ 本事業の運行エリア

EV タクシーの営業エリアは、より多くの体験者を必要とするため、本事業の運行エリアは、大阪都心部（大阪駅周辺、なんば駅周辺）を含む 4 箇所とする。

➤ スケジュール（予定）

	11月	12月	1月	2月	3月
【府民向け】 試乗会・オンデマンド運 行のPR 試乗体験者募集		←————→			
【府民向け】 セレモニー（オープニン グイベント*）			（ ）		
【試乗体験者・乗務員向け】 運行調査				←————→	
【府民向け】 普及PR PR効果の検証 （報告書作成）		←————→			←————→

➤ 委託業務内容

A 普及啓発活動

広報・PR計画の作成

試乗体験者予約システムの作成（試乗体験者数の目標は1,500人）

B EV タクシー運行調査の実施

運行方法及び運行エリアの選定

大阪都心部（大阪駅周辺、なんば駅周辺）を含む4箇所の運行エリア（概ね半径5km以内の範囲）を選定する。（ただし、運行エリア、運行方法については現場調整等の関係で変更する場合がある。）

運行計画の作成

運行エリア、運行方法に合わせたEVタクシー50台の運行計画を策定。

運行方法の検証

運行において「乗車回数、走行距離、待機時間、必要な充電回数」等を調査しEVタクシーに最適な運行方法を検証し、報告書にまとめる。

アンケート調査票の作成と同乗調査

EVタクシーに関する調査に必要なアンケート調査票作成と同乗聞き取り調査を実施する。

表示ステッカーの作成

車両の両サイドに貼付するステッカーを作成

C 報告書の作成

本事業終了時に報告書を作成し、大阪府に提出する。

\* 2：大阪府では電気自動車（EV）を活用したタクシービジネスの定着をめざすとともに、多くの府民がEVの魅力を感じることができる機会を創出することを目的として、EVタクシー50台の導入を支援し、平成22年度中にEVタクシー事業を開始します。

\* 3：EVOT 共同企業体

EVOT = EV Ondemand Taxi の頭文字を取り、親しみやすいロボットの語感をもじった呼称として命名したもの。

以上